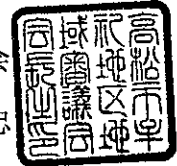


平成25年7月18日

高松市長 大西秀人 殿

高松市牟礼地区地域審議会
会長 三野重忠



合併基本計画に係る平成26年度から27年度までの実施事業に
関する意見の取りまとめについて（回答）

本地域審議会は、平成25年4月17日付け高地政第59号で依頼のありました合併基本計画に係る平成26年度から27年度までの実施事業に関する意見について、慎重に審議を進め、取りまとめましたので、別紙のとおり回答いたします。

つきましては、第4期まちづくり戦略計画の策定に当たり、これらの意見の反映について、格段の御配慮をいただきますようお願い申し上げます。

合併基本計画に係る平成26年度から
27年度までの実施事業に関する意見

平成25年7月

高松市牟礼地区地域審議会

合併基本計画に係る平成26年度から27年度までの実施事業に関する意見について

地区名：牟礼地区

番号	項目	意見の内容
1	旧牟礼老人福祉センターの有効利用	牟礼老人福祉センター廃止後の施設については、現在、倉庫等で利用されているが、平成23年度第2回会議において提案しているように、例えば、牟礼図書館を拡充するとか、災害時の備蓄倉庫に活用するなど、地域に役立つ施設に有効利用されたい。
2	介護予防事業の充実	<p>高齢者の日常生活に関する相談窓口としての地域包括支援センターサブセンター牟礼と健康づくりの相談窓口としての牟礼保健センターが、牟礼支所の新庁舎内に移転し、本年3月4日から業務を開始した。</p> <p>一方で、4月1日付けで牟礼老人福祉センターが廃止された。同センターは、牟礼地区の高齢者福祉の拠点施設であるとともに、高齢者の集いの場でもあった。廃止後は、高齢者から「集える場がなくなった。」という声が聞こえるようになり、このことは、高齢者が交流し、いきいきと活動するための核となる場がなくなったことを意味し、また、超高齢社会へと進む中、介護予防を更に充実させなくてはならない現在、これが後退したことを意味する。</p> <p>高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らすためにも、高齢者が交流し、元気づちから介護予防に取り組むことが重要である。今後は、既存の施設、例えば、自治会集会所等を活用し、高齢者の交流を促進している地域の活動団体と協働して、介護予防事業を更に充実するとともに、地域で介護予防活動を行う団体への支援にも取り組まされたい。</p>
3	放課後児童クラブの施設整備	牟礼南放課後児童クラブ（みなみクラブ）のトイレ施設については、学校側および保護者との協議の結果、現在の体育館外付けトイレを使用しているが、雨天時には水溜りなどによって軟弱地盤となり、地面が滑りやすく危険な状態になるので、雨天時の対策として、屋根付の渡り通路を設置されたい。
4	雨水排水施設の整備	<p>牟礼地区においては、旧牟礼町時代に早くから公共下水道事業に取り組んできており、汚水管渠については計画的整備がなされ、ほぼ整備は完了している状況である。</p> <p>しかしながら、雨水管渠の施設整備については、計画はあるものの、その整備は進んでいない。しかも、同計画区域内に河川や農業用排水路に接していない法定外道路といった生活道路が市内各所に多く点在している。</p> <p>近年、集中豪雨が多発している中で、浸水対策に関する住民のニーズも非常に高いことから、身近な生活道路についても、今後、雨水排水施設の重点的、計画的な整備を行うなど、雨水対策を強力に推進されたい。</p>
5	避難所における環境整備	<p>東日本大震災後、市民の防災意識も一段と高まってきており、避難所において様々な問題点がでてきている。</p> <p>その中で、女性の視点から、避難所に赤ちゃんの授乳スペース、着替えコーナー、女性専用相談窓口を配置してほしいなどの要望もあることから、避難市民のプライバシーに配慮した環境整備に取り組まされたい。</p>

番号	項目	意見の内容
6	津波避難ビルへの迅速な避難のための施設整備	<p>高松市においては、津波等の浸水想定区域を表示した防災マップの作成や津波避難ビルを指定するなど防災対策を推進されているが、各浸水想定区域の住民が、自宅から避難所や津波避難ビルまで迅速に避難ができるように、緊急地震速報や大津波警報などの危機に関する情報を迅速かつ正確に提供するための防災行政無線屋外拡声子局の増設や全国瞬時警報システム（J-ALERT）からの情報がスムーズに聞き取れるようにデジタル式同報系防災行政無線整備工事をするとともに、津波避難ビルへの案内誘導板の設置および避難経路の安全確保にも努められたい。</p>
7	条例制定を視野に入れた空き家対策の推進	<p>近年、過疎地だけでなく、都市部でも経済事情や高齢化等に伴い、空き家が増えており、家屋の老朽化による崩壊や放火、廃屋へのごみの不法投棄などの問題が各地で発生していることから、空き家の所有者に適正な管理を求めたり、撤去を命令したりする「空き家対策条例」の制定が全国の自治体で進んでいる。</p> <p>牟礼地区はもとより、市内の随所で空き家が放置され、敷地内の樹木や雑草が繁茂し、火災を誘発する要因となっているケースや建物倒壊によって道路が封鎖され、消防車や救急車が通行できなくなり、人の生命に被害を及ぼすおそれがあるケースが多く見受けられる。</p> <p>南海トラフ巨大地震の発生が危惧されている中、住民が安全で安心な暮らしを確保するため、高松市においても、早急に条例制定を視野に入れた空き家対策に取り組まれたい。</p>
8	公共交通の利用促進策の推進	<p>高松市においては、自動車に過度に依存した現状から、公共交通の利用を促進し、誰もが安全に安心して移動できる公共交通体系を構築するとともに、高松市のまちの魅力を高め、にぎわいの創出を図り、環境への負荷の少ない社会の実現を目指していると伺っている。</p> <p>牟礼地区の主な公共交通は、琴電志度線、JR高徳線およびことでんバス庵治線であるが、通勤、通学の時間帯では一定の利用があるものの、それ以外の時間帯の利用者は少ないことから、牟礼地区においても公共交通の利用促進を図る必要がある。</p> <p>牟礼地区における公共交通の利用促進策として、琴電八栗駅周辺の整備、駐輪場の拡張、琴電が実施するレンタサイクル事業への支援などが考えられる。</p> <p>また、駒立岩・祈り岩・弓流しの跡などの源平屋島合戦の史跡や「むれ源平石あかりロード」等、牟礼地区の魅力ある観光資源・イベントについて、更に情報を発信し、公共交通を利用して、牟礼地区を訪れる人を増やし、にぎわいの創出を図ることが重要である。</p> <p>これらのことも含めて、高松市として公共交通の利用促進策にもっと積極的に取り組まれたい。</p>
9	地域特性を生かした住民参画によるスポーツ施設の管理・運営	<p>平成23年度に牟礼地区地域審議会より「むれスポーツクラブの育成・支援という視点に立った指定管理者制度の運用」の意見を述べたところです。その回答によると、本市の39のスポーツ施設については、管理コスト面、管理運営面等を総合的に勘案して、全施設を一括し、指定管理を指定する方が適当と判断し、財団法人高松市スポーツ振興事業団に指定管理しているとのことであるが、地域住民は、この一元管理は公正性・公平性をあまりにも重要視しているため、施設運営の硬直化を生み、また、施設の特異性や地域の利用者の特殊性を無視した管理であると感じている。</p> <p>このような課題を解決するには、地域の実情等を熟知している地域コミュニティ協議会が指定管理者となり施設の管理運営を行うことが最良の方法だと考える。その点、むれコミュニティ協議会は、日ごろの活動やコミュニティセンターの指定管理者としての経験を通し、大きく成長してきており、また、構成団体にはスポーツやスポーツ施設の運営に関する専門知識を持った総合型地域スポーツクラブ「むれスポーツクラブ」があり、体育施設の管理運営に十分な能力を有していることから、牟礼地区にある体育施設については、是非、むれコミュニティ協議会を指定管理者としていただきたい。</p> <p>むれコミュニティ協議会が指定管理者になれば、地域に密着した小回りの利く施設の管理運営ができ、市民サービスも向上するし、このことが、「むれスポーツクラブ」への支援にもなり、また、むれコミュニティ協議会、ひいては牟礼地区全体のより一層の活性化にもつながると確信する。</p>

番号	項目	意見の内容
10	合併基本計画の着実な実施	<p>地域審議会においては、これまで合併基本計画の進行管理を行ってきたが、10年間の合併基本計画も、残すところあと2年余りとなり、仕上げ段階に入ってきた。</p> <p>そこで、今後、合併基本計画の進捗状況を明確に示した上で、未着手施策・事業については、計画期間内に実施できるよう、予算化に配慮するなど、完全実施に向け、積極的に取り組むとともに、計画期間内に完了できない施策・事業などについて、どのような対応をするのか、市の方針を示されたい。</p> <p>また、地域審議会の設置期間は平成28年3月31日までとなっており、それ以降は、地域のまちづくりに関することについて意見を述べる場がなくなってしまふ。平成28年度以降、地域行政組織の再編もあると伺っているが、その新しい枠組の下、地域住民の意見を市政に反映させるため、地域のまちづくりに関することについて、意見が述べられる場、議論ができる場といった地域審議会に代わる新たな機関の設置をされたい。</p>